

11月 主題 「みのりがいっぱい」 旧約聖書 詩編 67編 7～8節

『7 大地は作物を实らせました。神、わたしたちの神が／わたしたちを祝福してくださいますように（11月中心聖句）。8 神がわたしたちを祝福してくださいますように。地の果てに至るまで／すべてのものが神を畏れ敬いますように。』

「神さまの祝福の中で」

毎年、秋が深まっていく季節を過ごす中で、私たちは自然の実りの豊かさに気づかされます。同時に、園での子ども達の生活もそれぞれに深まっています。例えば、クラスでの活動、園全体の活動、そして子ども同士の間わりにおいて、とても充実した光景が見られます。

先の10月下旬、年長児（すずらん組27名）は、地域の方々のご厚意により、お芋ほりの体験をすることが出来ました。実際に収穫したり味わったりして、自然の営みの不思議さを五感で受け止め、確認することの貴重な時間を過ごしました。また小さな子ども達は、毎日のお散歩中に、秋の風景を目の当たりにしながら、その瞬間を堪能（たんのう）していたことでしょう。

このような乳幼児期に、神さまが与えてくださった千差万別の大地の恵みを目で見、手で触れ、舌で味わうことは、子ども達の心を豊かに育むだけでなく、感謝の思いも生まれてきます。そして何よりも、聖書のみ言葉によって耕された子ども達の心は豊かに成長し、心動かされる素晴らしい時を過ごしていくのです。

さて、今月の聖書（詩編）に登場する人々も「大地は作物を实らせました」と神さまに感謝の歌をささげ、秋の収穫を心から喜んでいきます。

現在、私たちが住んでいる日本は、消費文化に囲まれて、食べられること、与えられていることが当たり前となっています。つまり、飽食の時代を過ごしています。勿論、日々の衣食住には感謝を覚え、明日への糧（活力）を頂きながら私たちは生きています。しかし、開発途上国や紛争地域の小さな子ども達は、毎日生きるために食べ物を求め、住む家を求めて懸命に生きていることを思うと、私たち日本人は、何と恵まれていることでしょう。

そのような豊かな生活の中で、多くの人々の表情に輝きが失われてしまっています。もしかすると、それは大人だけではなく、これから未来の扉を切り開いていこうとする子ども達の姿にも表れているかもしれません。

かの有名なローマ・カトリック教会のシスター（修道女）だったマザー・テレサが、初めて来日し、日本人を見た時にこのような言葉を残されました。「いま着ているものより、もっといいものが着たい、今日の食事よりももっと素敵な食事がしたい、現在の家よりももっと広いところに住んでみたい。もっともっといい暮らしを、そのことが父親の頭の中にいっぱい。そのことが母親の頭の中にいっぱい。子どもに友だちが一人増えたことを知らない。…一番身近にいる人の本当の悩みも、喜びも、苦しみも気がつかなくなっていく。いつもすぐ近くにいる人の、本当の姿が見えなくなっていく。」と言って、最後に「日本の社会は経済的には恵まれているけれども、日本人を見ると彼らの心が貧しく見えてしまうのはどうしてなのでしょう。」と心配されていたのです。

私たちが日々生きていく中で、食べ物がないと生きていくことは出来ません。食べ物は命に関わる最も大切なことです。世界を見渡しても、大地が作物を实らせることは当たり前のことではありません。しかし、人が本当に人らしく生きていくと言うのは、食べること以上に、大切なものがあるのではないのでしょうか。

毎年11月第4木曜日に、アメリカのキリスト教会では収穫感謝祭を祝います。収穫感謝祭は、1620年の冬に、メイフラワー号と言う船に乗ってヨーロッパからアメリカ大陸に渡った102名の人々（ピルグリム・ファーザーズと呼ばれるキリスト者たち）が、厳しい未開の地で寒さと食糧不足のために半年で半数が死んでしまいました。残った人たちが、先住民（インディアン）から狩りの仕方や農作物の作り方を教わり、やっとの思いで収穫の秋を迎えたのです。そして、先住民たちを招いて一緒に七面鳥の丸焼きや野菜や小麦粉の料理を食べて神さまに感謝をささげたことに由来します。最初の人々が厳しい自然の中で生き延びて収穫が与えられ

た時、それがあって当たり前の収穫や命ではないことを身に染みて感じたのです。だから、神さまに新しい命を頂いた、と感謝せずにいられなかった、と言うことが収穫感謝祭の始まりです。

新開地での厳しい生活の中で、ピルグリム・ファーザーズの人たちの気づきは、物は溢れているけれど心が飢え渴いている今の私たちに大切なことを伝えて下さっていることではないでしょうか。

今月のみ言葉である詩編67編7節には、収穫の恵みだけでなく、「わたしたちの神が／わたしたちを祝福してくださいように」と言う神さまの祝福がもたらされますように、と言う祈りが込められています。

この収穫感謝記念日をお祝いする時、子ども達一人ひとりの上に、神さまの祝福が豊かに注がれ、子ども達の心が豊かに育まれていきますようにお祈り致します。

行事予定

- 11月27日(木) 収穫感謝合同礼拝・誕生日会
 - 11月27日(木) 園児健康診断(岩男病院) 午後～
 - 11月30日(日) アドヴェント(待降節)入り
 - 12月 3日(水) 英会話(ゆり組、すずらん組)
 - 12月 4日(木) 合同礼拝(以上児クラス)
 - 12月11日(木) 避難訓練
 - 12月17日(水) 英会話(ゆり組、すずらん組)
 - 12月20日(土) **保育園クリスマス祝会**
- ※ 今年のクリスマス行事に関するお知らせは、裏面に記載しています。
- 12月24日(水) 誕生日会・合同礼拝
 - 12月25日(木) 教会学校・卒園児クリスマス祝会 午後 1時30分～
 - 12月27日(土) 保育終了日

2015年

- ◎ 1月 5日(月) 保育開始日
- ◎ 1月 8日(木) 合同礼拝(以上児クラス)
- ◎ 1月14日(水) 英会話(ゆり組、すずらん組)
- ◎ 1月15日(木) 避難訓練
- ◎ 1月27日(火) 誕生日会・合同礼拝

※ 保育園行事に参加される保護者の皆さまは、早めにご予定を入れて下さいますよう宜しくお願い致します。



お知らせ

☆ 新しいお友達を紹介します。宜しくお願い致します。

ちゅうりっぷ組 高橋 杏樹(たかはし あんじゅ)ちゃん

ひまわり2歳組 衛藤 りさ子(えとう りさこ)ちゃん、菊池 康(きくち こう)くん



☆ **収穫感謝合同礼拝**についてのお願い

毎年11月の合同礼拝は、秋の豊かな実りを神さまに感謝する**収穫感謝合同礼拝(11月27日・木)**としてさせていただきます。保護者の皆様にご協力頂ける方は、本日25日(火)～26日(水)まで、ご家庭にある果物や野菜などをおさげ頂ければ幸いです。宜しくお願い致します。

☆ 毎週日曜日、午前9時から9時30分まで子ども達の教会学校を行っています。

静かな朝、神さまを礼拝し、神さまの愛と祝福を味わうひと時をご一緒に過ごしてみませんか。関心のある方は、小森 牧師か利光 先生までご連絡下さい。





聖愛保育園クリスマス集会の予定

- ・ 11月30日（日）待降節（アドヴェント）入り【クリスマス礼拝の4週間前】
- ・ 12月16日（火）、18日（木）クリスマス祝会総合練習
- ・ 12月20日（土）保育園クリスマス祝会（8時30分登園 9時開始）
- ・ 12月15日（月）クリスマスキャロリング訪問（温水園、ヘルステーション虹）
- ・ 12月22日（月）クリスマスキャロリング訪問
（湯布院庁舎、公民館、高倉緑樹園前）
- ・ 12月25日（木）教会学校・卒園児クリスマス祝会 午後 1時30分～ 3時

由布院教会クリスマス礼拝のご案内

- 12月24日（水）クリスマス・イブ燭火礼拝 午後 7時～ 8時
- 12月28日（日）クリスマス主日礼拝 午前10時15分～
クリスマス祝会 礼拝後～ 1時30分まで

教会のクリスマス礼拝は、誰でもご自由に参加することが出来ます。今年のクリスマスは、是非、教会で過ごされてみてはいかがでしょうか。お勧め致します。

ennpou Seiai (2014・11・25)